

平成28年 第1回 三朝町総合教育会議 議事録

招 集 年 月 日	平成28年7月20日（水曜日）
招 集 場 所	役場 委員会室
開 会	平成28年7月20日 午後1時30分
出 席 委 員	吉田秀光（町長）・藤井俊子（委員長）・芦田準子（職務代理者）・吉田恵彦・中前雄一郎・朝倉 聡（教育長）
欠 席 委 員	
説明のために会議に出席を求められた者の氏名	教育総務課長 小椋泰志
	教育総務課参事 河村明浩
	総務課長 西田寛司
	教育総務室長 畠中浩子（記録）
協 議 事 項	（1）小学校統合の今後の進め方について
そ の 他	

事務局	これより平成28年度第1回三朝町総合教育会議を始めます。 最初に藤井委員長からあいさつをお願いします。
委員長	第1回の三朝町総合教育会議を開催できることを大変うれしく思います。 一週間前兵庫、岡山と県外に視察に行き、それぞれ詳しく統合に至る経緯等説明していただきました。 私たち教育委員会ではたびたび教育委員会を開催して議論を重ねてきました。また、先日議会特別委員会から報告書が提出されました。それを受けて何らかの方向性を示さねばと思っています。 今日は、町長さんから違う角度から意見をいただいて新しい方向性を示していただければ幸いです。どうぞよろしくをお願いします。
事務局	それでは吉田町長よりあいさつをお願いします。
町長	中部の4人の町長で、熊本県益城町他の視察に行ってきた。大変な状況の中で教育の保障をどのようにとらえていくか、現場を見ながら両立をしてやっていく方向を目指さなければならない。 私たちが今克服していかなければいけないこと、教育長はじめ教育委員会の職員も克服しなければならない状況というようなことをざっくばらんに話し合ってみればと思います。 やがて10月に入ると町長部局の方も教育という問題をきちっと行政の中に

	位置づけてとらえていかなければならないと思っていますので、皆様のご指導をお願いしてあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくをお願いします。
議事録署名委員 指名	藤井委員長・中前委員を指名します。
町長	4の協議事項「小学校統合の今後の進め方について」説明をお願いします。
事務局	会議資料に基づき説明。
町長	教育長、教育総務課長、補足はありませんか。
教育長	今、説明がありましたが、議会調査特別委員会の報告を受け、教育委員会でも今後の進め方について協議したところ、「平成30年で西小の校舎を使って統合していくことに合わせて、新しい校舎についても建設していく。」ということで委員の合意が得られました。
町長	3校統合と校舎は別々ではなく一体という観点で進めなければならない。町の財政的には大丈夫という財政の試算を踏まえてきている。別々だと統合しておいて、後に新しい校舎のことを考えればよいのではないかと、非常にぬるいことになるのではないかと。 子どもたちが何を思い、何を望んでいるのか。子どもを持つ親がどんな思いを今思っているのかということを中心軸にしなければならないと思う。 委員の皆様のご意見はどうか。
委員長	先ほど町長さんが言われたことについては、私たちもそうでした。議員さんとの懇談会の時も議員さんから統合と校舎は別々で考えられないかと話があったが、私たちは、統合と校舎はセットだと言わせていただきました。 ただ、県外視察等行き、比較的スムーズに統合が運んでいるところはすでに校舎があったところばかりでした。 新たな土地に新校舎ということが大きな問題を抱えるのだということが改めてわかりました。
委員	議会の報告では、統合と校舎は別々の問題として考えるべきとあった。 私たち教育委員会の中では、統合であればもちろん新校舎で夢のある学校の建設をと思っている。そしてあの西小では設備が不足しているということはわかりきっていることだと思っている。多分東小、南小の保護者の方も統合で新校舎ということがあったからこそ統合に賛成していただいたと思っている。新築という旗をおろすべきではない。 どうしたらいいのか私たちも戸惑っている。
町長	子ども達の保護者、教育委員の中で決めてやっていくのが一番いいと思う。 9月議会は補正予算を計上して3月よりもっと積極的に議会に提案していきたい。 東小、南小の保護者は新しい校舎を建てないのなら今のままで良いと思ってしまうのではないかと。
教育長	校舎の位置について検討した時に、今の西小の東側と本泉を比較して考える

	と、町道を拡幅しなければならなくなるなど、本泉の場合は、ものすごくお金がかかることになることなどについて詳しく伝えていないので、ことあるごとに伝えていかなければならないと思っている。
委員	<p>今後は出せる情報は出していって。町民が決定していくということで進めていっていただきたい。</p> <p>持続的に三朝町の子どもが6年間学ぶということの思いをもってあたってほしい。</p>
町長	これからはどの学校がよいのかという時代になってきた。
委員	これからは守るだけでなく打って出る発想が必要だ。校舎を建てた場合の旧校舎の跡地も町の財産になるので決して無駄にはならない。
町長	スケジュール的には統合準備委員会を8月10日に開催するというのが一番近いんですね。統合準備委員会は、統合は32年ということで説明しているのですか。
事務局	はい。2月25日の最後の統合準備委員会で説明した。3月の定例議会にこういった内容で提案していきたいということで説明するとき、32年の新しい学校の建設とあわせた学校の統合を進めていきたいということで了解願いたいという説明をした。
町長	それで了解して3月議会に向かったということですね。今度の準備委員会では実質統合30年として、32年に向けて校舎の建設をすすめることをこの会で最後にきちっと協議していただかないといけない。
教育長	もう一度校舎建設を本年度9月に議会に提案したい。
町長	1か所計上なのか、コンサルに依頼して複数の候補地を選定して比較する資料を作るのかどうか。例えば県立美術館、こういう選定のやり方は考えていないのか。
教育長	複数の候補地から選定してきたので、今は西小の隣ということで考えています。
町長	では他はやってみようということは考えていないということですね。
教育長	統合準備委員会でも学校を建てるとなるとどれくらい経費が必要か資料を出して説明したい。
委員	きちっと説明してほしいのは、平成30年が平成32年になった。それが議会の否決により平成30年になった。平成30年にするとどうなるのかと。それは、当然問題がでてくる。どういう具合に説明していくのか。こうなった経緯をきちっと話してほしい。
教育長	平成30年に統合と、新校舎を進めるというのはセットで進めていく。
委員	初めに統合準備委員会の委員の方は自分の立ち位置が分からないと言われていた。その時に事務局は「尊重する。」と言われた。準備委員会の方々に対して教育委員会の努力が足りなかったと伝えなければならない。経緯を丁寧に説明

	していかなければならない。そのうえで教育委員会の報告に期待を持つという委員会にしなければならない。
町長	委員の意見をふまえて臨んでください。 保護者説明会の会場にマスコミが入りたいと言った場合はどうするか。私は特には拒む理由はないのではないかと思います。 町民への説明は、また様子を見て、やるならば大きな会場で文化ホール大会議室に。極めてオープンな姿に。 では、閉会にあたり委員長さんから一言お願いします。
委員長	どのような方向にもっていったらよいか。この状況からどのように脱出していくかと考えていた。 町長さんとお話ししていくうちにやはり自分たちは間違っていなかった。こどもものことを考えたらこれが一番いいのだと思えるようになりました。 色々言われ迷うことも多いが、みんなでこれがいいと決めたら一直線で進むようにがんばりたい。よろしくお願いします。
町長	以上で、会議を閉会します。
	～閉会 午後3時20分